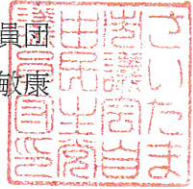


令和3年8月12日

さいたま市長 清水 勇人 様

さいたま市議会自由民主党議員団
団長 鶴崎 敏康



新型コロナウイルス感染症対策に関する要望及び提言（第三次）

さいたま市議会自由民主党議員団は以下の項目について第三次の緊急の要望及び提言をいたします。
記

1. 新型コロナウイルス感染症の軽症、中等症患者の在宅療養において、病状が悪化し、手遅れになるような事態が生じないように、在宅療養者への連絡、健康観察が適時実施できるように県と連携し、在宅支援体制をさらに強化していくこと。特に単身者の健康観察と緊急時の対応についてあらかじめ確認し、安心して療養ができる体制を整えること。
2. 訪問診療所、訪問看護ステーションにおいては新型コロナウイルス感染症患者に対応できる施設が限られており、他の利用者への影響も大きい。今後、在宅療養者への訪問診療、訪問看護が機能できるように市が積極的に支援と連携を行い、在宅療養者への医療、看護ができる体制を構築すること。
3. 新型コロナウイルス感染者の急激な増加に対応できるようにコロナ専用病床、宿泊療養施設のさらなる増床と快復後の速やかな転院にむけ、県と連携を図ること。
4. 保健所の業務量の急激な増大に対応できるよう、保健所職員の増員と応援体制の強化、業務負担の軽減に努めること。
5. 障がい児・者施設や保育所・放課後児童クラブ等においては職員や利用者による感染が散発している。感染管理認定看護師による感染防御態勢の指導を行い、適切な感染対策を整えていくこと。
6. 医療従事者においては優先接種が行われているが、その家族は優先接種の対象ではない。家族からの感染の危険が懸念されるところであり、医療従事者が濃厚接触者となり、業務を休まざるを得ない事態が発生している。医療従事者家族への優先接種枠を設け、感染防止体制を強化していくこと。
7. 市民の安心安全のために災害時対応を求められる消防団員とその同居家族においても、優先接種枠を設けること。
8. 49歳以下の若年者へのワクチン接種の予約を速やかに開始できるよう、国にワクチン供給を要望し、体制を整えていくこと。合わせて、若年者がワクチン接種をすることに市としてインセンティブを与えることで、若年者のワクチン接種を促進すること。

以上